

## 9 沿岸漁場細密調査

担当者 次長 馬場勝彦  
漁業課長 浅加信雄  
主任研究員 豊川毅  
技師 真木序夫

### I, 調査目的

沿岸漁業振興の基礎となる漁場形成の基本的要因を解明し、人工魚礁設置の適地、増殖対策、年間操業計画に対する指標を与え、漁業経営の合理化に寄与する。

### II, 調査内容

- (1) 調査期間 昭和43年6月～11月
- (2) 調査場所 太平洋沿岸(400m以浅の海域)
- (3) 調査項目

- (イ) 水深
- (ロ) 底質
- (ハ) 海底地形
- (ニ) 潮流
- (ホ) 水温

### (4) 調査方法

調査は白糠から備船した第2長運丸(7.77トン, D, 40馬力)を使用し, 1,000m間隔の分画線上を航走し, 魚探により, 水深, 海底地形の調査を行った。又, SK式採泥器を使用して, 底質, 粒度組成調査を実施し, 潮流は簡易潮流計により, 流速流向の測定を行った。

### III, 調査結果

測定した水深, 底質を調査図上におろし, 等深線, 底質図を併せて作成した。

調査結果図は, 太平洋北部, 同南部の2枚にカラー印刷し, 関係漁業協同組合他関係者に配付した。

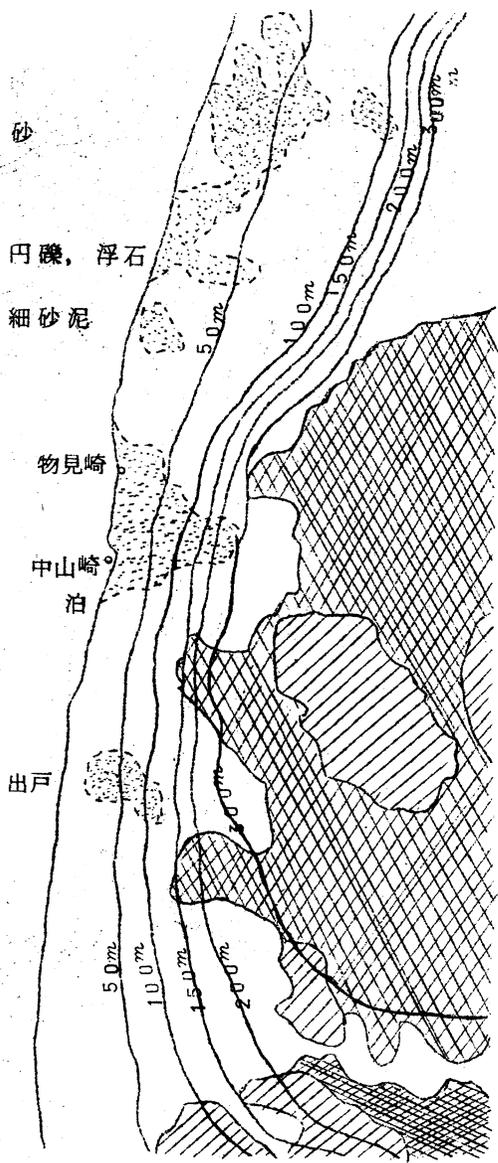
### IV, 考察

本資料は前記目的にも述べたように, 次のような点に役立つと思われる。

- (1) 海底々質を把握することにより貝藻類養殖適地ならびに適地面積を把握できることによつて, 計画的な養殖経営の合理化が図られる。
- (2) 水深, 底質に対応する各種漁具漁法の適正化を促進し, 漁場までのコース決定を容易する。
- (3) 底質と生物相との相関性を究明し, 今後の漁業計画確立の資とする。
- (4) 水産土木工事を実施するにあたり, 場所及び工法の決定に目途が与えられる。

# 太平洋水深底質図 (北部)

- 底質記号
- Fs, S 細砂, 砂
  - R 岩磐
  - ▨ G, P, Pm 砂利, 円礫, 浮石
  - ▩ Ms, Fs, M 砂泥, 細砂泥



太平洋水深底質図  
(南部)

